防災アプリの実証実験について

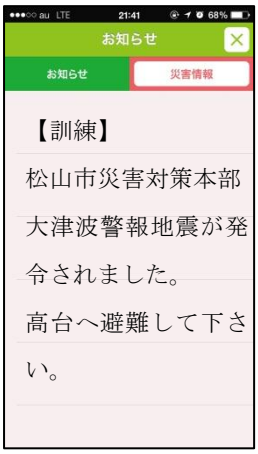
総務省ＩＣＴ街づくり推進事業として、スマートフォンで利用できる防災アプリを開発しました。このアプリの有効性を検証するため、下記のとおり実証実験を行います。

１．	**日時**	平成 25 年 12 月 1 日（日）8:30～11:30　（実動避難時間　9:30～10:25）
２．	**地区**	三津浜、宮前、和気、市内（番町・八坂・東雲）6 地区
３．	**実施概要**	市が防災アプリに災害通知を送信し、モニターが実動避難を行う。 その後、モニターを集合場所に集めヒアリングを行う。

【実証実験までの準備】

松山市が開発した防災アプリです。
①お手持ちのスマートフォンにインストール
②インストールする際の簡単な手続き
③メールによる実証実験参加登録
準備はこれだけです。

【実証実験当日】



自宅等の場所で 9 時 30 分に災害情報が入ります。
9 時 33 分に避難情報が入ります。
これを受けて、避難を開始します。

避難所や標高が確認できるようになっています。

避難が完了したら、現在地メール（安否確認）を送信します。場合によっては、標高の高い避難所へ再び避難を行っていただくこともあります。

実動避難は 9 時 30 分に開始し、10 時 25 分の合図で終了します。その後、集合場所でヒアリングを行います。